

国民健康保険について

先づ必要性の確認を

この世の中すべての人が皆お金持でその上健康であつたらどんなに幸福でせうかしら。足踏みにこまでいかに心配なく病気に罹つた時、くらくは代心の心配なく、すぐに必要な手当が受けられるようにしたいものでその方法として国民健康保険制度があります。

この保険の制度は昭和初期の不況期に於て病気に罹つても医療費の支払が出来ず疾病対策医療費負担方法の解決が非常に重大な社会問題となつたとき、究つた結果、公的解決の方法として、昭和十三年にこの国民健康保険制度が出来たのであります。

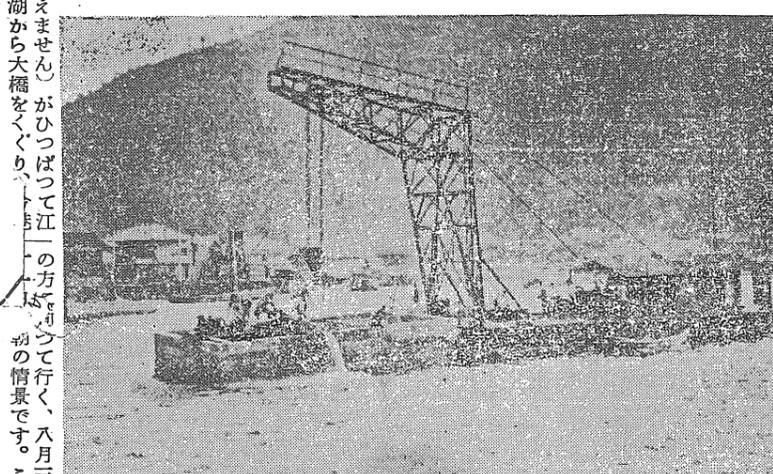
その後の昭和二十三年にこの制度が根本的に改正され、従来は組合制度を以て運営されてきたものを市町村の公営を原則とし、その市町村の住民は必ず加入しなければならぬ事になり、市町村の一般行政事務と同様に取扱うことになり、昭和二十八年にこの制度が改正され、医療費の負担は、世帯の所得に比例して、一、二、三、四、五の五段階に別れて、それぞれ異なる率に課税されることになりました。

その後の昭和二十三年にこの制度が根本的に改正され、従来は組合制度を以て運営されてきたものを市町村の公営を原則とし、その市町村の住民は必ず加入しなければならぬ事になり、市町村の一般行政事務と同様に取扱うことになり、昭和二十八年にこの制度が改正され、医療費の負担は、世帯の所得に比例して、一、二、三、四、五の五段階に別れて、それぞれ異なる率に課税されることになりました。

ケイソン海を行く

長浜港の改修は今の位進んでゐるが、外気のつかぬものが多い。昨年度までの完成部分は八二米半で、御覧の通りガツチリと海上に構へてゐます。

今年四月〇米だけ、防波堤を築くには、以前はブロック(五〇×五〇×一〇〇)と云つて、縦一〇米、横一〇米、高さ二〇米、重量七トンの四角のコンクリートの塊を根固めに使つてゐたのです。今年四月からケイソン(函塊)と云ふものを使つてゐるのです。ケイソンは縦六米、横十米、高さ四米八十センチ、重量八トンのブロックの間に、全体がコンクリートで固まつてゐるものと違つて、内部は六つの部屋に仕切られてゐます。外側と底の間には、鉄筋コンクリートで出来てゐます。



えません)がひびつて江の方へ流れて行く、八月三日の情景です。

その後の昭和二十三年にこの制度が根本的に改正され、従来は組合制度を以て運営されてきたものを市町村の公営を原則とし、その市町村の住民は必ず加入しなければならぬ事になり、市町村の一般行政事務と同様に取扱うことになり、昭和二十八年にこの制度が改正され、医療費の負担は、世帯の所得に比例して、一、二、三、四、五の五段階に別れて、それぞれ異なる率に課税されることになりました。

長浜町防犯対策協議会では、近時覚せい剤が青少年の心身に悪影響を及ぼし、多くの犯罪を生じつゝ、あつては、現況に鑑み、防犯対策の一環として、覚せい剤追放運動を展開する。去る八月十二日町役場会議室に大洲警察署長、長浜警察署長、町長、町副町長、町教育委員会、町青年団、町婦人会、町消防団、町内各学校、各PTA等代表者並に児童委員、保護司、主任町医約三十名が出席し、協議会を開催。覚せい剤追放委員会を組織。役員として、会長末永芳朗(防犯対策協議会長)、副会長長瀬野村(防犯協議会長)、副会長長瀬野村(防犯協議会長)、副会長長瀬野村(防犯協議会長)。

町では過般委員長小野季の平均一割増に止めた。本年度固定資産の評価額は、前年度より約一割増の千七百〇〇、〇〇〇円と見込まれる。本年度の固定資産の評価額は、前年度より約一割増の千七百〇〇、〇〇〇円と見込まれる。

本年度の固定資産の評価額は、前年度より約一割増の千七百〇〇、〇〇〇円と見込まれる。本年度の固定資産の評価額は、前年度より約一割増の千七百〇〇、〇〇〇円と見込まれる。

固定資産評価審査委員会記録。町では過般委員長小野季の平均一割増に止めた。本年度固定資産の評価額は、前年度より約一割増の千七百〇〇、〇〇〇円と見込まれる。

国民指文の記録。前号で掲載した如く去る九月十七日から三十日(一日延期)迄毎夜、高校生の協力を得て指紋の採取を行つたが、その実績は次の通りであつて、当町では尙四分の一は登録が終つてゐないこととなる。

自衛官募集の資格。自昭和四年十月二日生、至十一年十月一日生までの男子。新制中学校卒業程度の学力を有する者。

八月の出生と死亡。出生：高岡佐次(二男)、高岡好秋(二男)、吉田高雄(二男)、中道繁(二男)、永岡安雄(二男)、岡田三郎(二男)、岡田元雄(二男)、岡田三郎(二男)、岡田元雄(二男)。

八月の出生と死亡。出生：高岡佐次(二男)、高岡好秋(二男)、吉田高雄(二男)、中道繁(二男)、永岡安雄(二男)、岡田三郎(二男)、岡田元雄(二男)、岡田三郎(二男)、岡田元雄(二男)。

八月の出生と死亡。出生：高岡佐次(二男)、高岡好秋(二男)、吉田高雄(二男)、中道繁(二男)、永岡安雄(二男)、岡田三郎(二男)、岡田元雄(二男)、岡田三郎(二男)、岡田元雄(二男)。